# Gentle

### Takumu Shimizu

## Tokyo University of Agriculture and Technology

#### Negotiation Management 1

Gentle は、サンプルコードの一つである Adaptive Aegnt を継承しており、それぞれの相手に対して独立に交渉を行う. また、交渉の選択は継承元のクラスと同一であり、自分の  $\operatorname{need}(q^{need})$  が満たされるまで全ての相手との交渉を継続する.  $q^{need}$  は外的取引量からその日の合意した取引量を引いたものである. 特に utility function は設定しておらず、主に価格を 重視して判断する.

#### Offering Strategy 1.1

Gentle は、いくつかの指標をもとに offer の価格( $p^{offer}$ )および取引量( $q^{offer}$ )を決定する.その際、これらの記号 ⊵, ⊲を,エージェントにとって良いか悪いかを表す大小関係として定義する.この時,売り手エージェントであれば5 ⊲ 10 は真であり、買い手エージェントであれば  $5 \ge 10$  も真となる.

 $i/j/t^{nego}$ : simulation step/negotiation step/negotiation time

### 1.2 Acceptance Strategy

Gentle は、いくつかの指標をもとに受け入れる unit price  $(p^{accept})$  を決定する. 取引量については考慮しない.

## 2 Risk Management

全く合意できないというリスクを対処するため、Gentle は Self factor (S) をもとに譲歩した Offer を提案する. 具体的には、次のような条件下で譲歩する.

1: if 
$$t^{sim} > 0.3$$
 and  $S < 0.5$ :  
2:  $s^{offer} = s^{offer} - 1$ 

Self factor は、自身の交渉の進捗を表す指標であり、次のように求められる.

$$S = \frac{2}{3}AR + \frac{1}{3}AP$$

$$AR = \begin{cases} \frac{\text{number of success simulation steps}}{i} & \text{if Gentle has one or more agreements} \\ 1 & \text{if Gentle has no agreement} \end{cases}$$

$$AP = \begin{cases} 0.5 - b^{is\_selling} \times \frac{p^{prev\_contract} - TP}{TP} & \text{if Gentle has one or more agreements} \\ 0.5 & \text{if Gentle has no agreement} \end{cases}$$

 $p^{prev\_contract}$ : 直近の合意価格TP: trading price

### 3 Evaluation